

清澄庭園ライトアップ～深川あかりつむぎ～



今秋の清澄庭園のライトアップでは、池泉（かつての汐入）周囲の園路に行灯の小さなあかりを配し、地あかりとっています。

園路に沿って配された行灯の小さなあかりをつむぎ、ひとつの大きな光の景へと繋げていくこと。それは、ひとびとが互いに手を携え合い、大きな力へとなるような願いにも繋がっています。

尚、ライトアップに使用している300台以上の照明器具は全てLED照明を採用し、鶴島と松島のLED照明はソーラー発電にて点灯しています。

<あかりのポイント>

1 涼亭をのぞむあかり

真っ赤に色づいたハゼと涼亭が秋を感じさせる光の景となります。

2 鶴島・松島のあかり

護岸の石組に光の波紋を映し出し、日々移り変わる景色を演出します。また、ソーラー発電により、「光の地産地消」も実現しています。

3 富士山のあかり

わずか3Wの小さなあかりをつむぎ、富士山という大きな光の景をつくりだします。

【香り風景の演出】※香りの演出は雨天時中止

今秋の清澄庭園ライトアップでは、昨年に引き続き、視覚だけでなく「香り」の演出も行うことにより、来園者の方が庭園散策の記憶をより鮮やかに心に留め、庭園を五感で体験できるような「香り風景」も創り出しています。

<香りのポイント>

1、2、3、5 「清澄の秋の夜」の香り

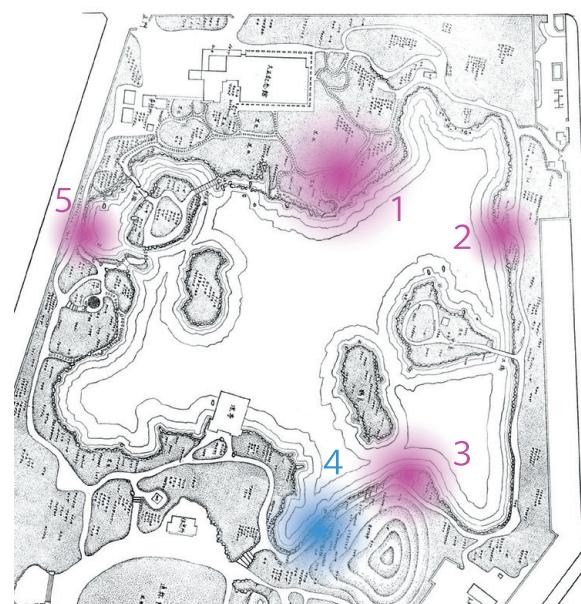
しつとりとした庭園の風情の中に、やわらかでほのかな甘さのある香りが漂います。

4 「清滝」の香り

力強い滝の水の流れをイメージした香りが漂います。

香り風景の演出場所

- 1 大正記念館前の芝庭付近 2 中の島手前のベンチ付近 3 富士山園路
- 4 枯滝付近 5 庭園を池越しに見返す地点



ほむらこうけい
照明デザイン／焰光景デザイン

施工／ホンマライティングデザイン、アキヤマデンキ株式会社

照明器具協力／株式会社 電菱, PAPERMOON

香り風景演出／セントスケープ・デザインスタジオ